



平成 19 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
問い合わせ先 取締役兼グループ執行役員
飯田 浩一
電話番号 03-5434-1586

平成 19 年 9 月期中間期（連結・個別）業績予想の修正について

平成 19 年 9 月期中間期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 18 年 11 月 17 日付「平成 18 年 9 月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 18 年 9 月期個別財務諸表の概要」にて発表致しました業績予想を下記のとおり修正致します。

なお、本開示における決算数値等は監査法人による監査前数値であるため、監査後決算数値等とは必ずしも一致致しません。

記

1. 平成 19 年 9 月期中間期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	9,800	200	170
今回修正予想 (B)	11,110	350	210
増減額 (B - A)	1,310	150	40
増減率 (%)	13.37%	75.00%	23.53%

(2) 修正理由（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

当社は、当上半期においても、事業戦略である独自の「マルチブランド戦略」（当社を事業持株会社とした多数の優秀なコンテンツ制作会社をグループ化する戦略）を実行し、高収益をあげる会社の新規設立や、M&Aによりグループ拡大を図る一方で、T Y O グループ内での今後の展望に課題をもっていた企業の整理もまた行ってまいりました。

当上半期においては、広告映像事業セグメント（TV-CM制作事業）の業績が当初当

期中間予想を上回り、連結売上高 11,110 百万円（前回予想比 13.37%増）、連結経常利益 350 百万円（前回予想比 75.00%増）、連結中間（当期）純利益 210 百万円（前回予想比 23.53%増）となる見込みです。

中間連結業績予想の修正理由としては、広告主の広告宣伝費等の予算執行が例年 3 月、9 月に集中する傾向にある中で、広告映像事業の業績増加による売上向上への貢献と、堅調を持続するコンテンツ・ソリューション事業の業績貢献、平成 18 年 12 月 25 日に開示致しました、デジタルアーカイブ・ジャパン株式会社の株式の譲渡による連結中間（当期）純利益への影響が、増益となる要因となっております。

2. 平成 19 年 9 月期中間期 個別業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	2,700	295	350
今回修正予想（B）	3,380	430	420
増減額（B－A）	680	135	70
増減率（%）	25.19%	45.76%	20.00%

(2) 修正理由（平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

当社は、広告映像事業セグメントにおいて TV-CM の企画・制作事業を展開しており、第一プロダクションズ本部、第二プロダクションズ本部、プロダクション統括本部の三つの部門が、積極的な営業を推進する「受注強化」とグループ規模での価格交渉および社内コストを出来る限りコントロールし、「利益率管理の強化」を実行して参りました。

その結果、当中間期は、売上高 3,380 百万円（前回予想比 25.19%増）、経常利益 430 百万円（前回予想比 45.76%増）、中間（当期）純利益 420 百万円（前回予想比 20.00%増）となる見込みです。

個別（中間）業績予想修正理由としては、TV-CM の企画・制作事業の「受注強化」による受注増と「利益率管理の強化」によるコストコントロールの成果と、平成 18 年 12 月 25 日に開示致しました、デジタルアーカイブ・ジャパン株式会社の株式の譲渡による連結中間（当期）純利益への影響が、増益となる要因となっております。

当社グループは過去、4～5 年に一度の「踊り場」的な時期を経験しておりますが、その都度抜本的な改善施策を図ることで成長を続けてまいりました。当連結会計年度においても、改善施策を実施中であり、引き続き顕在化している課題・問題点を速やかに解決することによって更なる成長を続ける所存です。

尚、現時点において、通期の見通しの修正は行いません。修正が必要となった場合、適時開示致します。

以上